

4月 ようちえんだより

新しい年度を迎えて、新入園の子どもたちは少し不安な「ドキドキ」した気持ちを、また進級する子どもたちは少しお兄さん、お姉さんになった「ワクワク」した気持ちを感じているかも知れません。そして保護者の方々もまた様々な気持ちでお子様を送り出したことでしょう。

キリスト教保育連盟は、2016年度の年主題を、2015年度の“『平和』をつくる”につながるものとして『平和をともに』と決めました。

広辞苑で「平和」の意味を調べると「やすらかにやわらぐこと。おだやかで変わらないこと。戦争がなくて世が平穏であること」と記載されています。

それでは、キリスト教保育の中の平和とはどのように考えられるのでしょうか。「主にある平和。神さまが一人ひとりに与えられた生命の尊さと、イエス様が一人ひとりに下さる深い愛を、子どもとともに心に覚え感謝するところに平和が生まれ、平和がつくられていく」という事ではないでしょうか。そして「子どもがそこにおいて、その子どもが遊びに夢中になっている…それこそが平和、その姿を守り続けたい」「保育者である自分自身の平和を保てるようでありたい」「子どもと共に平和を考え、平和を生き、平和をつくり出していきたい」というキリスト教保育を行う者にとっての強い思いもあります。『平和をともに』=『主とともに』と考え、キリスト教保育における平和がつくりだせるようにYMCAの幼稚園では“子どもとともに” “保護者とともに” “保育者とともに” この1年を豊かに共に歩んでいきたいと思っています。

<平和の祈り> アッシジの聖フランチェスコ

ああ主よ、わたしをあなたの平和の道具にしてください。
憎しみのあるところに、愛をもたらすことができますように。
争いのあるところにゆるしを、分裂のあるところに一致を、
疑いのあるところに信仰を、誤りのあるところに真理を、
絶望のあるところに希望を、悲しみのあるところに喜びを、
闇のあるところに光をもたらすことができますように。

ああ主よ、わたしに、
慰められるよりも、慰めることを、理解されるよりも、理解することを、
愛されるよりも、愛することを求めさせてください。
わたしたちは与えるので受け、ゆるすのでゆるされ、
自分自身を捨てることによって、永遠の命に生きるからです。
アーメン

年主題 『平和をともに』

<年主題聖句> 「キリストはわたしたちの平和であります。」

(エフェソの信徒への手紙2章14節)

4月主題 「であう」

聖句 “神は愛です”

(ヨハネ第一の手紙4章16節)